

臨時
議会
2/15

米兵による女子中学生への暴行事件 意見書、抗議決議を全会一致で採決

米兵による女子中学生への暴行事件に対する抗議決議

去る2月10日、北谷町の閑静な住宅街において、女子中学生を車内で暴行したとして、翌11日に在沖米軍海兵隊キャンプ・コートニー所属の二等軍曹が逮捕される事件が発生した。

このような事件は、女性の人権を蹂躪する極めて悪質で深刻な事件であり、被害者の心中を察すると断じて許せるものではない。また、町民や県民及び子を持つ親の受けた衝撃は、計り知れないものがある。

本町議会は、これまでに米軍人・軍属等による事件・事故が発生するたびに綱紀粛正、再発防止及び関係者への教育を徹底するよう米軍当局や関係機関に強く申し入れてきたところであるが、またしてもこのような痛ましい事件が発生したことは、決して許すことのできない重大な事件であり、強い憤りを覚えるものである。

たび重なる、事件・事故に、米軍の再発防止策の弱さと、日米地位協定の運用改善では対処できない厳しい現実を指摘し、抜本的改善策を改めて求めるものである。

よって、本町議会では、県民の生命、財産、安全を守る立場から関係機関に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要求する。

記

1. 事件の全容を解明するとともに速やかに公表し、被害者と家族に対する謝罪及び誠意を持った対応を行うこと。
2. 在沖米軍人・軍属等の一層の綱紀粛正を図り、事件・事故の再発防止に向けて、実効性ある施策を講ずること。
3. 日米地位協定の抜本的な見直しを図ること。
4. 米軍基地の一層の整理縮小と海兵隊を含む兵力の削減を行うこと。

以上、決議する。

平成20年 2月15日

沖縄県西原町議会

あて先 (抗議決議)

駐日米国大使 在日米軍司令官
在沖米軍総領事 在日米軍沖縄地域調整官
在沖海兵隊キャンプ・コートニー司令官

あて先 (意見書)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣
外務省特命全権大使 沖縄防衛局長



米兵によるあらゆる事件・事故に抗議する県民大会

3・23

豪雨の中、
6,000人!!

(主催者発表)

冷たい雨が降りしきる中、「これ以上、米軍による被害者を出してはならない」と県内外から『米兵によるあらゆる事件・事故に抗議する県民大会』(実行委員会主催)へ六千人が集まった。会場は米軍基地への怒りと抗議の声に包まれた。